




会社名 WD-40 カンパニー	製品名 WD-40 Specialist®長期防錆剤	最新改定日 2016年7月15日
--------------------	-------------------------------	---------------------



			
		安全データシート	

作成日：2016年7月15日

1. 化学品及び会社情報

製品名/化学品の名称	WD-40 WD-40 Specialist®長期防錆剤
会社名	WD-40 カンパニー
住所	1061 Cudahy Place (92110) P.O. Box 80607 San Diego, California, USA 92138 -0607
電話番号	緊急専用：1-888-324-7596 (PROSAR) 情報案内：1-888-324-7596 漏えい時：1-800-424-9300 (ケミトレック) 国際電話：1-703-527-3887
推奨用途	防錆剤

2. 危険有害性の要約

GHS分類		
物理化学的危険性	可燃性エアゾール	区分1
健康に対する有害性	皮ふ刺激性	区分2
	眼刺激性	区分2A
	皮ふ感作性	区分1B
水生環境有害性	水生環境有害性(急性)	区分2
GHSラベル要素		
絵表示	 	
注意喚起語	危険	
危険有害性情報	H222 極めて可燃性又は引火性の高いエアゾール H229 高压容器：熱すると破裂のおそれ H315 皮膚刺激性 H319 強い眼刺激性 H317 アレルギー皮ふ反応を起こすおそれ H401 水生生物に毒性	
注意書き		
【安全対策】	P210 熱、火花、裸火、高温のもののような着火源から遠ざけること。禁煙。 P211 裸火または他の着火源に噴霧しないこと。	

会社名 WD-40 カンパニー	製品名 WD-40 Specialist®長期防錆剤	最新改定日 2016年7月15日
--------------------	-------------------------------	---------------------

	P251 使用後を含め、穴を開けたり燃やしたりしないこと。 P261 ミスト、蒸気の吸入を避けること。 P264 取扱後はよく手を洗うこと。 P272 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。 P273 環境への放出を避けること。 P280 保護手袋と保護眼鏡を着用すること。
【応急措置】	P302+P352 皮膚に付着した場合：多量の水と石鹼で洗うこと。 P333+P313 皮膚刺激又は発疹が生じた場合：医師の診断/手当を受けること。 P362 + P364 汚染された衣服を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。 P305 + P351 + P338 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 P337 + P313 眼の刺激が続く場合：医師の診断/手当を受けること。
【保管】	P410+P412 日光から遮断し 50°C以上の温度にばく露しないこと。
【廃棄】	P501 内容物、容器を地方自治体及び国の法規に従って廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別	混合物
-------------	-----

化学名/一般名	CAS番号	含有量 (wt.%)	GHS 分類
石油蒸留物、水素化処理重質ナフテン	64742-52-5	35-45	区分外
脂肪族環状アミン	企業機密	5-10	急性経毒性 区分4 眼刺激性 区分2A 皮ふ刺激性 区分2 水生環境有害性(急性) 区分1
スルホン酸カルシウム塩	企業機密	5-10	皮ふ感作性 区分1B
石油蒸留物、水素化処理軽質	64742-47-8	<2	吸引性呼吸器有害性
推進剤(プロパン、イソブタン)	74-98-6/ 75-28-5	25-45	可燃性ガス 区分1 加圧ガス、圧縮ガス

4. 応急措置

飲み込んだ場合	医療関係者から指示がない限り吐かせてはならない。意識がある場合は、水で口をすすぐ。意識がないまたは眠気がある人には決して何も口から与えてはならない。直ちに医師、救急センターまたは WD-40 救急ホットライン 1-888-324-7596 に連絡すること。
眼に入った場合	水で十分に洗い流す。コンタクトレンズを付けている場合は、洗浄開始から5分後に外し、さらに続けて15分間洗うこと。刺激が続く場合は医師の手当てを受けること。
皮膚に付着した場合	水と石鹼で洗浄する。もし刺激がひどくなったり、継続する場合は、医師の手当てを受ける。
吸入した場合	刺激を感じたら新鮮な空気のところへ移動させる。もし刺激や他の症状がひどくなったり、継続する場合は、医師の手当てを受ける。
最も重要な徴候症状 (急性、遅発性)	眼と皮ふ刺激。飲み込んだ場合または皮ふから吸収した場合には有害のおそれ。皮膚感作性のおそれ。

会社名 WD-40 カンパニー	製品名 WD-40 Specialist®長期防錆剤	最新改定日 2016年7月15日
--------------------	-------------------------------	---------------------

緊急医療措置または特別な処置	緊急医療措置は通常の場合は不要である。
----------------	---------------------

5. 火災時の措置

消火剤	噴霧水、粉末消火薬剤、炭酸ガス、泡消火剤を使用して消火する。
使ってはならない消火剤	棒状水または氾濫するような多量の水を使用してはならない。燃焼している製品が表面に浮かび、火災が拡大する。
特有の消火方法	消火を行う者は常時、圧力自給式呼吸器と完全防護服を使用する。火災に曝らされているタンクを水で冷却する。破裂している容器から保護するために遮蔽を使用する。
特有の危険有害性	極めて可燃性のエアゾールである。内容物は加圧状態である。発火源や裸火から隔離すること。容器を極めて高い熱や炎にさらすと激烈な力により容器が破裂する。蒸気は突発的な火事の原因になる。蒸気は空気より重く、表面を移動して離れた着火源まで到達し、フラッシュバックを起こすことがある。燃焼により、炭素、硫黄、窒素および炭化水素の酸化物を生成する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	適切な保護具を着用する(8項を参照)。すべての着火源を取り除き、付近を換気する。
環境に対する注意事項	環境への放出を避ける。要求に応じて当局に漏出を報告する。
封じ込め及び浄化の方法及び機材	漏れている容器は、圧力が解放されるまで、プラスチックの袋か、解放されたバケツの中に置く必要がある。液体を封じ込めて集め不活性吸収剤に吸収させ廃棄用容器に入れる。漏出区域を徹底的に浄化する。要求に応じて当局に漏出を報告する。

7. 取扱い及び保管上の注意

安全取扱い注意事項	<p>眼との接触を避ける。長時間の皮ふとの接触を避ける。蒸気やエアゾールの吸入を避ける。適切な換気が行われている場所だけで使用する。熱、火花、熱面および裸火から遠ざける。</p> <p>噴霧する前または電源の近く缶を持ち込む前に、電動工具、電動機や家電製品のプラグを抜くこと。電気は缶の穴を燃焼させ、内容物の炎上を引き起こす可能性があります。重大な火傷を避けるために、缶を、バッテリーの端子、モーターや家電製品の電氣的接続部や他の電源に触れないようにすること。取扱い後は、石鹼と水で十分に洗うこと。使用しないときは缶を閉じておくこと。子供の手の届かないようにする。空になっても容器に穴を開けたり、つぶしたり、焼却したりしないこと。</p> <p>内容物または容器を廃棄する場合は、13項に示す方法で廃棄すること。</p>
安全な保管条件	<p>涼しく、よく換気された場所で、混触危険物質と離して保管すること。</p> <p>直射日光の元や、48°C以上で保管しないこと。(危険物4類第2石油類 危険等級Ⅲ)</p> <p>酸化剤から話して保管すること</p>

8. 暴露防止及び保護措置

化学物質	許容濃度
------	------

会社名 WD-40 カンパニー	製品名 WD-40 Specialist®長期防錆剤	最新改定日 2016年7月15日
--------------------	-------------------------------	---------------------

石油蒸留物、水素化処理重質ナフテン	5 mg/m ³ TWA OSHA PEL (オイルミスト、鉱物として) 5 mg/m ³ TWA (inhalable) ACGIH TLV (鉱物油として)
脂肪族環状アミン	未確立
スルホン酸カルシウム塩	未確立
石油蒸留物、水素化処理軽質	5 mg/m ³ TWA OSHA PEL (オイルミスト、鉱物として) 5 mg/m ³ TWA (inhalable) ACGIH TLV (鉱物油として)
プロパン	1000 ppm TWA OSHA PEL
イソブタン(ブタン全異性体)	1000 ppm STEL ACGIH TLV

一般消費者用としての推奨管理	
技術的管理	よく換気された場所で使用すること。
保護具 眼	眼との接触を避けること。常に顔からスプレイを離しておくこと。
皮膚	長時間の皮ふ接触を避けること。皮膚接触の可能性がある操作では耐化学薬品手袋が推奨される。
呼吸器	換気のよい場所で通常使用の場合、呼吸器保護具は必要ない。
多量に扱う場合または職場での使用の場合の推奨管理	
技術的管理	暴露水準を作業環境許容濃度以下に維持するために、適切な全体排気装置及び局所排気装置を使用すること。
保護具 眼	眼との接触の可能性があるとところでは安全ゴーグルが推奨される。
皮膚	耐化学品手袋を着用すること。
呼吸器	換気が適切であれば不要である。もし稼業環境許容濃度を超える場合は、法規や公的基準に準拠した呼吸器を付けること。呼吸保護具の選択と使用は、汚染物質の種類、形状および濃度に基づいて行わなければならない。
衛生対策	取扱後は水と石鹼で洗うこと。

9. 物理的及び化学的性質

物理的状态、形状、色	黄褐色液体
臭い	石油臭
臭いの閾値	未確立
pH	未確立
融点	未確立
沸点	未確立
引火点	未確立
蒸発速度	未確立
燃焼性(固体、気体)	可燃性エアゾール
VOC	34%
燃焼限界(溶液部分)	LEL: 1.7% UEL: 10.9%
蒸気圧	6226mm Hg @ 68°F (20°C)
蒸気密度	1より大(空気=1)
比重	0.90-0.91 @ 68°F (20°C)
溶解性	水に不溶
分配係数;n-オクタン/水	未確立

会社名 WD-40 カンパニー	製品名 WD-40 Specialist®長期防錆剤	最新改定日 2016年7月15日
--------------------	-------------------------------	---------------------

自然発火温度	860°F (460°C)
分解温度	未確立
粘度	1000 cps @ 100°F (38°C)
流動点	未確立

10. 安定性及び反応性

反応性	正常な条件では非反応性
化学的安定性	安定
危険有害反応可能性	発熱性強酸化剤と反応する。
避けるべき条件	熱、火花、炎および他の発火源を避けること。容器に穴を開けたり、焼却しないこと。 内容物または容器を廃棄する場合は、13 項に示す方法で廃棄すること。
混触危険物質	強酸化剤
危険有害な分解生成物	一酸化炭素、二酸化炭素、窒素酸化物、硫黄酸化物、煙、煙霧、未燃焼炭化水素

11. 有害性情報

過度暴露による症状	
吸入	高濃度暴露は、鼻や呼吸器への刺激や、頭痛、めまいや吐き気などの中枢神経系への影響を引き起こす可能性がある。意図的な乱用は有害または致命的である。
皮膚への接触	長時間および/または繰り返し接触は軽度の炎症や皮膚炎で脱脂を生ずる可能性がある。 皮膚から吸収すると有害であり、飲み込んだときの症状と類似の症状を生ずる。 繰り返し皮膚接触は、アレルギー性皮膚反応を引き起こす可能性がある。
眼への接触	接触により眼に刺激を与える。赤眼や引き裂き感の原因となることがある。
飲み込み	嚥下は胃腸刺激、吐き気、嘔吐、下痢、不安、不穏状態、眠気、および痙攣を引き起こす可能性がある。
発がん性	発がん性または発がん性の疑いがある要素は、IARC, NTP, ACGIH または OSHA に記載されていない。
生殖毒性	生殖毒性と考慮される要素はないと思われる。
毒性の定量計測	製品成分の評価により、この製品の経口毒性は 2,000 mg/kg より大きく、吸入毒性は 20mg/L 以上であり、経皮毒性は 2,000 mg/kg より大きいと推定される。この製品は確立された基準により毒性には分類されない。

12. 環境影響情報

環境有害性	石油蒸留物、水素化処理重質ナフテン：LC50 pimephales propels>30.000mg/L/96hr。EC50 のオオミジンコ>1000mg /L48hr。 ErC50 セネデスムス subspicatus>1000mg/mg/L/96hr。 石油蒸留物、水素化処理された軽質：生態毒性データはなし。水生生物に有害でないと思われる。 脂肪族環状アミン：読み取り法(Read-across)に基づいて、急性毒性
-------	--

会社名 WD-40 カンパニー	製品名 WD-40 Specialist®長期防錆剤	最新改定日 2016年7月15日
--------------------	-------------------------------	---------------------

	区分1に分類される。 この製品は、水生生物に対して急性毒性として分類される。
残留性・分解性	一部の成分は易生分解性ではない。脂肪族環状アミンは易生分解性であると思われる。
生体蓄積性	情報なし。脂肪族環状アミンは生体蓄積性がないと思われる。
土壌中の移動性	情報なし。
その他の有害性	知られていない。

13. 廃棄上の注意

<p>国際、国、地方自治体の規制に従って廃棄すること。 容器の内容物が残ったまま廃棄しないこと。廃棄時に空容器に穴をあけるか否かなどの規制は自治体により異なるので自治体のエアゾール容器の廃棄方法を確認し、それに従って廃棄する。</p>

14. 輸送上の注意

国連危険物輸送勧告、IMDG、ICAO、危規則	国連番号 1950 エアゾール(容積が1Lを超え、再充てんができないものであって、かつ、備考の欄の規定により当該危険物に該当するものに限る。) クラス等級2 区分2.1 引火性高压ガス
輸送上の注意	WD-40 カンパニーは、航空機輸送の場合の容器の差圧適合試験や他の要求試験を実施していません。WD-40 カンパニーは当社の製品を航空機輸送することを推奨しません。

15. 適用法令

労働安全衛生法	<p>名称等を表示すべき危険物及び有害物(法第57条第1項、施行令第18条第1号、第2号別表第9)</p> <p>名称等を通知すべき危険物及び有害物(法第57条の2、施行令第18条の2第1号、第2号別表第9)</p> <p>危険物・可燃性のガス(施行令別表第1第5号)</p>
高压ガス保安法	可燃性ガス(一般高压ガス保安規則第2条1)
消防法	危険物4類第2石油類 危険等級Ⅲ

16. その他の情報

改訂箇所	最新の改訂箇所は本文に下線をつけています。
輸出時の注意	本 SDS は製品を日本国内で上市するためのものです。海外に本製品を輸出する場合は、輸出先国での法規に従った製品の取扱・使用、危険有害性の分類および SDS・ラベルの提供が必要です。
免責事項	<p>記載内容は当社の最善の努力で作成し、作成時には正しい内容であると思われます。しかし、情報を受信する個人が特定の目的のために使用する際に、その妥当性を自らの判断で決定することが期待されます。</p> <p>提供している情報は、安全な取扱、使用、加工、保管および輸送のためだけのものであり、品質機能を保証するものでもありません。ここに提供された情報は、出荷時における情報です。使用条件は製品製造者が管理できませんので、この製品の安全な使用条件は、お客様の責任において設定していただきご使用ください。</p>